

市立

1990年（平成2年）7月1日発行

市川自然博物館

増刊号 （通巻第6号） だより

企画展

大町自然観察園の自然



開催期間

7月20日～9月24日

ようこそ自然観察園へ

今回の企画展で取り上げる『大町自然観察園』は、自然博物館から歩いてすぐの場所にあります。自然そのままのすがたを身近に学べる場として、博物館を利用される時に、ぜひ一緒に見てほしい場所です。

企画展では、自然観察園の四季のすがたを、さまざまな角度からまとめてみました。自然観察園の特徴は湧き水がつくりだす環境で、豊かな水がさまざまな生物の命を支え、育んでいます。展示をご覧になったあとは、湿地に設けられた観察路を歩いて、アシ原や、まわりを囲む林を眺めてみてください。

自然観察園は、市川市内で唯一、谷津地形とその自然を残すところです。自然博物館では、この企画展をきっかけとして皆様に自然観察園を知っていただき、これから身近な自然観察の場として利用していただきたいと思います。



自然博物館の企画展

自然博物館では、市川の自然について皆様により深く知っていただくために、年に1～2回、企画展を行う予定です。内容は、大きく2つに分かれています。『地域研究シリーズ』と『動植物シリーズ』です。このうち『地域研究シリーズ』は、市内に残る自然豊かな場所を取り上げ、その自然をさまざまな角度から紹介していくものです。『動植物シリーズ』は、市内で見られる動植物についてグループごとに取り上げて紹介するものです。

『動植物シリーズ』の第1回は、開館記念特別展として行われた『市川の植物』です。市内でこれまで観察された950種類の植物のうち、代表的な150種ほどの標本を選び自然博物館特別展示室にて展示しました。また、あわせて特別展資料『市川の植物』も出版しました。

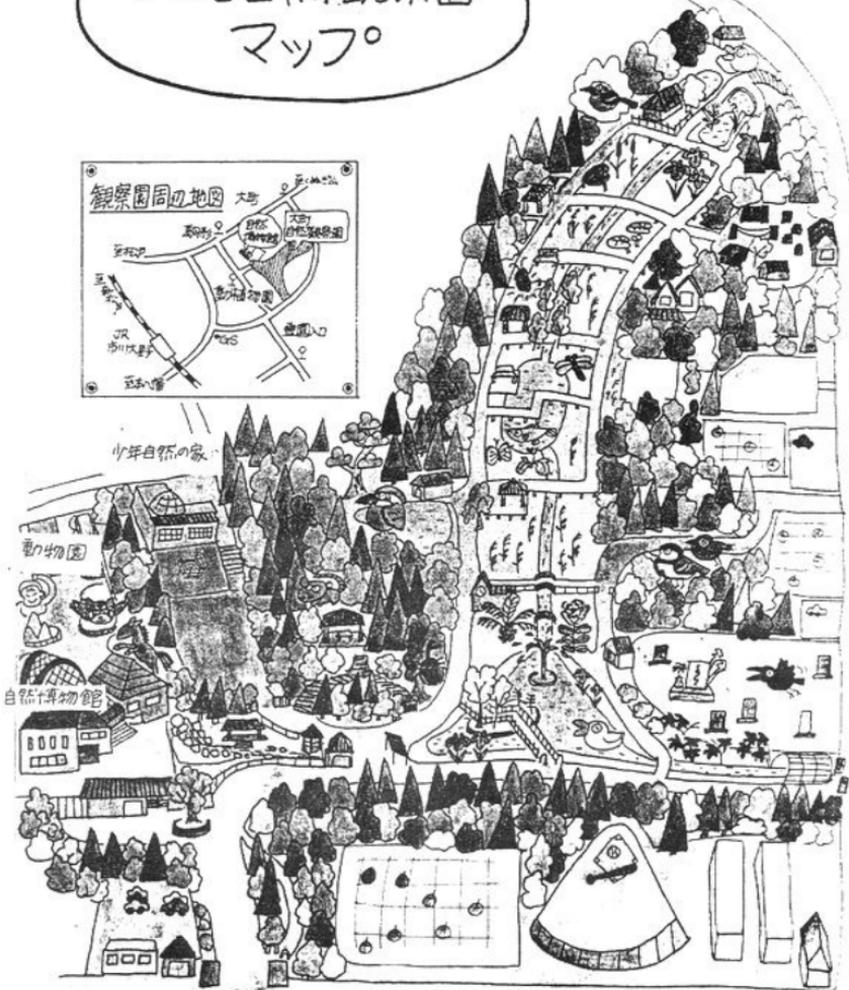
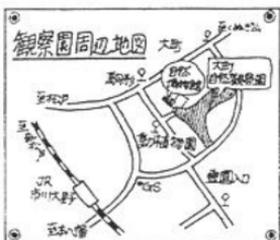
今回の企画展『大町自然観察園の自然』は、『地域研究シリーズ』の第1回にあたり、自然博物館に隣接する自然観察園を取り上げました。

なお、今後の企画展の予定は次のとおりです。

『動植物シリーズ』	『地域研究シリーズ』
・市川の鳥類	・江戸川放水路の自然
・市川の昆虫	・柏井雑木林の自然
・市川の哺乳類	・江戸川の自然
・市川の甲殻類	

大町自然観察園 マップ

大町バス停



動物園入口



展示室 コーナー紹介

特別展示室では、6つのコーナーで大町自然観察園の四季折々の自然の姿をご紹介します。

ようこそ自然観察園へ！

観察園はどのような場所だったのでしょうか。また、土地の使われ方はどのように変わり変わってきたのでしょうか。現在の観察園になるまでを解説します。

春

春をいろどる植物や、美しくさえずる野鳥、チョウをご紹介します。また、園内にいるカエルなどを水槽で飼育します。

夏

夏を代表する湿地の植物や、水辺の宝石といわれるカワセミなどの野鳥をご紹介します。また、いろいろなセミの紹介や、アヤマのなかまとガマのなかまを例に植物の見分け方をわかりやすく解説します。さらに、あまりお目にかかれぬ夜の観察園のようすを再現します。フクロウやコウモリ、イタチ、クヌギの樹液に集まる昆虫たちが登場します。

秋

秋にみられるタデのなかまや野ギク、葉の落ち始めた林に集まる小鳥たちをご紹介します。また、秋の夕べに、観察園でどんな虫の音がきこえたか、鳴く虫クイズにチャレンジして思い出してみましょ。さらに、いろいろな植物の種子のはこばれかたを解説します。

冬

冬に花を咲かせるハンノキなどの植物や、観察園で冬をすごすツグミなどの冬鳥をご紹介します。観察園のいきものたちはどのように冬をすごしているのでしょうか。いきもの夏と冬のくらしのちがいを、動くパネルを使って調べてみましょう。

遊ぼう

ドングリごまや笹笛、すもうとりぐさといった昔なつかしい遊び道具の材料は、今でも皆さんのまわりにたくさんあります。ここでは、観察園でできる草木を使ったいろいろな遊びをご紹介します。実際にドングリごまをまわして遊びましょう。

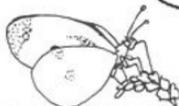
どのコーナーも、自然観察のヒントがいっぱいつまっています。展示室の次の順路は本物の自然観察園です。きっと新しい発見があなたを楽しませてくれることでしょう。

ようこそ
自然観察園へ

夏の景観



春



春の景観

植物を見分けよう



夜の大町公園

夏



種子のいろいろ



秋

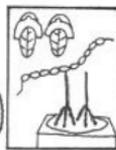


秋の景観

冬の景観



冬



遊

いきものの夏と冬

「観察ノート」を持って

観察園をまわろう



企画展開催中、自然観察園の観察のポイントをわかりやすく解説した、「観察ノート」をお配りしています。園内の動物や植物たちのこんなところ、あんなところを、観察ノート片手にさがしてみましょ。知らず知らずのうちに、いろいろないきものたちと顔見知りになっていきますよ！ ノートは、第1弾（8/10まで）、第2弾（8/31まで）、第3弾（9/24まで）の3種類で、その時期にあわせてよりすぐった5つの話題をご紹介します。もしわからないことがあったら、いつでも博物館の学芸員におたずねください。

ノートは、博物館の入口でお配りしています。



企画展資料 『

大町自然観察園

』のご紹介

企画展の開催にあわせて、企画展資料『大町自然観察園』を出版します。この本は、自然観察園をさまざまな角度から紹介したもので、観察園に関する総合的な解説書となっています。観察園について、企画展の展示よりも詳しく知りたい方に、おすすめです。

『大町自然観察園』の内容

- ・自然観察園の地形・環境
- ・自然観察園の植物
- ・自然観察園の昆虫
- ・自然観察園の鳥
- ・自然観察園の他の生物

(哺乳類・カエル・水の生き物)

- ・自然観察園の歴史



★★★☆☆☆☆☆☆ 利用案内 ★★★★★☆☆

開館時間

午前9時30分～午後4時30分
(入場は午後4時まで)

休館日

毎週月曜日
(月曜日が休日の場合は翌日)
年末年始
(12月28日～1月4日)

◎ 本八幡駅北口から

①京成バス『動植物園』行き
終点下車すぐ

②京成バス『大町』行き
「駒形」下車徒歩15分

どちらのバスも、京成線「京成八幡」駅、
JR武蔵野線「市川大野」駅に停車します。



動植物園行きバス時刻表

	平日		休日	
	本八幡駅北口	市川大野駅	本八幡駅北口	市川大野駅
9	11 47	06 34	01 53	01 25
10	22	10 45	35	17 59
11	01 39	23	08 40	32
12	40	02	48	04
13	25	03 48	20 50	12 44
14	04 48	27	45	14
15	25	11 48	15 54	09 39

お知らせ

●図書コーナーがさらに充実しました。
展示室入口の情報コーナーに、自然観察や生物の生活などを紹介した絵本などを多数そろえました。どうぞご覧下さい。

●「市川の自然」「市川の植物」発売中
郵送御希望の方は、現金書留に代金(各500円)及び送料(自然:210円、次号は8月1日発行

植物:175円・両方:260円分の郵便切手)
同封の上、当博物館までお送り下さい。

市立市川自然博物館だより
第2巻 4号 (通巻6号)

発行日 / 平成2年7月1日

編集・発行 / 市立市川自然博物館

〒272 千葉県市川市大町 284番

☎ 0473 (39) 0477